



創刊のお知らせ

川崎市は今年4月、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して、「川崎市一般廃棄物処理基本計画-かわさきチャレンジ・3R-」を策定しました。この計画では、次の3つを10年後の達成目標としています。

- ・一人一日あたりに出すごみを180g減量
- ・ごみの資源化量を20万トンに増量(現在は12万トン)
- ・ごみの焼却量を13万トン削減

今後、この目標達成に向けた市の取組や、市民・事業者のみなさんによる活動、リサイクルの実践に役立つ情報などを紹介していきますので、みなさんぜひ3Rに“チャレンジ”してください!



“かわさきチャレンジ・3R”の取組

●出前ごみスクール

小学校における社会科総合学習の一環として、収集職員がごみ収集車とともに学校を訪問し、ごみの減量・リサイクルの大切さなどを学ぶ体験学習を行っています。

●資源集団回収事業

学校PTAや町内会等の実施団体が回収業者と契約して新聞・雑誌・ダンボール等の古紙類を回収しています。市内のどの地域でもご協力いただけるよう、事業の拡大を図っていきます。

●生ごみリサイクルモデル事業

小学校等から出る給食の調理残さ等の生ごみを東京農業大学で肥料化しています。また、校内に生ごみ処理機を設置し堆肥化しています。できた肥料、堆肥を使った畑や菜園の作物等の生育状況も紹介していきます。

くわしくは次号以降でお知らせします。

また、このほかの取組紹介や、ごみの減量・リサイクルに関するQ&Aやクイズなど、紙面を通じて、みなさんと交流していきたいと思ひます。



乞うご期待!

今日から“チャレンジ”しましょう!

詰替え商品を選びましょう。

過剰な包装は断りましょう。

買い物袋を持参しましょう。



概要版パンフレットを区役所・図書館等で配布しています。また、市ホームページに全文を掲載しています。

- 広報紙の掲載ページ→<http://www.city.kawasaki.jp/30/30genryo/home/3news/3news.htm>
- 基本計画の掲載ページ→<http://www.city.kawasaki.jp/30/30genryo/home/index/index.htm>

※「一般廃棄物処理基本計画」とは、廃棄物処理法第6条に基づいて、市町村における廃棄物処理の中・長期的な基本方向を定めたものです。